

小浜キャンパス交流センター エレベータ更新工事

EV】昇降設備工事	
00. 表紙・図面リスト	08. 昇降路縦断面図
01. 機械設備工事特記仕様書（その1）	09. 乗場穴明図
02. 機械設備工事特記仕様書（その2）	10. 乗場意匠図
03. 配置図・案内図	11. 乗場位置表示器意匠図
04. 改修概要・工事区分	12. かご室意匠図
05. B1・1階平面図	13. かご操作盤意匠図
06. 2階平面図	14. 車いす用かご操作盤意匠図
07. 昇降路・機械室平面図	

令和 3年 7月
公立大学法人 福井県立大学

機械設備工事特記仕様書

(R 2. 4改訂)

I. 工事概要						
1. 工事場所 福井県小浜市学園町1-1						
2. 建物概要						
棟名	構造	階数	延べ面積 (m ²)	消防法施行令別表第一の用途	建築基準法別表第一の用途	備考
A : 交流センター	RC造	2	-	-		
B :						
C :						
D :						

3. 工事種目 (●印を付けたものを適用し、各一式とする)

棟別および屋外	適用区分					
	工事種目	A	B	C	D	屋外
空気調和設備	○	○	○	○	○	
換気設備	○	○	○	○	○	
排煙設備	○	○	○	○	○	
自動制御設備	○	○	○	○	○	
衛生器具設備	○	○	○	○	○	
給水設備	○	○	○	○	○	○
排水設備	○	○	○	○	○	○
給湯設備	○	○	○	○	○	
消火設備	○	○	○	○	○	
ガス設備	○	○	○	○	○	
浄化槽設備	○	○	○	○	○	
厨房機器設備	○	○	○	○	○	
昇降機設備	●	○	○	○	○	○
撤去工事	●	○	○	○	○	

4. 別契約の関連工事

○建築関係工事 ○電気関係工事 ○給排水関係工事 ○空調関係工事
○その他工事 ()

5. 工期
別に示す公告等による。
(但し、下記に指定する部分の工事については令 和 年 月 日完成)
指定部分

II. 工事仕様

1. 共通仕様

- 現場説明書、特記仕様書、設計図面に記載がない事項は、国土交通省大臣官房官府営繕部の仕様書等による。
「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)
「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」(平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)
- 工事種目に電気設備工事を含む場合、その仕様は当該図面による。
- 設計変更の対象事項および手続をさらに工事一時中止に係る手続き等は、「工事請負契約におけるガイドライン(総合版)」(福井県土木部)による。

2. 特記仕様

- 項目より特記事項は、○印、●印のついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。

章	項目	特記事項
一般事項	●施工条件	現場説明書による。
	●事務処理	福井県営繕工事監督事務処理要領による。
	●近接工事の間接費等	密接に関係のある同一工事区内の追加工事(同一工種とは限らない)を現工事と同一施工業者が同一工事を合算したもので落札後調整を行う。
	●施工計画書	標準仕様書第1編1.2.2により施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
	●施工体制の確保	建設業法によるほか、下記により工事現場における適正な施工体制の確保を図る。
		(1) 提出書類
		1 施工体制台帳および施工体系図の写し
		2 工事担当技術者台帳の写し 監理技術者および主任技術者(下請負を含む)の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載し、施工体制台帳または施工計画書に添付する。
		3 工事冗長・下請関係者届出書 該当なき場合はその旨を記入し提出する。
		(2) 工事請負代金額が500万円以上の工事 工事実績情報サービス(GORINS)に基づき、工事の受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、期限内に登録機関に登録申請をしなければならない。 また、登録完了後は「登録内容確認書」を直ちに監督職員に提出しなければならない。
	(3) 名札の用意 監理技術者および主任技術者(下請負を含む)および元請業者の専門技術者は、工事現場において、工事名、工期、顔写真、氏名、所属会社名、社印および発行年月日が記載された名札を着用する。	
●官公署その他への手続	工事に必要な官公署等への手続きは標準仕様書第1編1.1.3又は改修標準仕様書第1編1.1.3による。 ●主任技術者等の資格	別に示す公告等による。
●技能士(1級)の適用	下記の職種について適用するよう努める。 ○配管(配電工事) 建築板金(ダクト製作および取付け) ○熱絶縁施工(保温工事) ○冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付および整備) ○()	
●下請負人の選定	下請負人を選定する場合には、福井県内に主たる営業所を有する者の中から選定すること。 ただし、あくまでも書面による承諾を受けた場合は、この限りではない。(福井県建設工事請負契約規正化指導要綱第7条)	
●公共事業労務費調査	公共事業労務費調査の対象工事となった場合(工期経過後も同様)には、調査票の記入等について協力を行う。	

一般事項	●工事用資材の選定	工事材料や物品等の調達においては、福井県内に主たる営業所を有する者の中からの調達および県産品の活用に努める。また工事完成時に県産品使用実績報告書を監督職員に提出する。
	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの、または、これと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	○発生材の処理等	また、設備機材等の製造者は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとし、証明となる資料または外部機関が実行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 (1)品質および性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設および品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定の供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認可、認定または免許等を取得していること。 (5)製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。
	●機材等の検査・試験	標準仕様書または改修標準仕様書による。
	●工事検査・技術検査	監督職員の指示による。
	○工事成績評定の対象	※請負金額250万円以上の場合、評定する。○250万円未満の場合、評定しない。 (工事成績評定要領第2条)
	●化学物質を放散させる建築材料等の使用制限	本工事に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質および性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2)接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3)接着剤は可塑剤(タル酸ジ- <i>n</i> -ペルキル及びタル酸ジ-2-エチルヘキシル等)を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 (4)木材を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	○建設発生費	引き渡しを要するもの ※なし ○あり (機器類・金属類等) 家電リサイクル法による処分を要するもの ○なし ○あり (図示) フロン系冷媒使用機器の撤去 ○なし ○あり 上記機器類の撤去は改修標準仕様書第3編4.2.4、2.4.3及び第5編2.3.2による。
	○再使用機材	(1)標準仕様書第1編1.3.9または改修標準仕様書第1編第5章による。 外し後再使用する機材は、改修標準仕様書第1編1.4.3による。なお、ファンコイルユニット等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして十分に清掃を行う。
	●完成時の提出図書等	(1) 標準仕様書第1編第1章第7節および改修標準仕様書第1編第1章第8節による完成図等を作成し、監督職員に提出する。 電子納品によるほか、提出書類および作成様式等は下記のとおりとする。
一般事項	○設計図	種類 原図 製本 備考 区分 1部 一 ※変更設計図 1部 (注2) ※完成図 1部 () ※保全に関する資料 2部 ○長期保全計画書 2部
	●著作権等	注1: 原図は施設毎に面図ホルダーに収納する。 注2: 完成図白焼製本 A1版 (※1部 ○部)、A3版 3部を提出する。
	●一年点検	(2) 保守点検に必要な工具類一式を、監督職員に提出する。
	○耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人 建築研究所監修)により、基礎、脚台、アンカーボルトについて耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基礎施工要領は標準図(施工25~29)による。
	●設計用水平震度	(1) 設計用水平震度 耐震安全性的分類 設置場所 ○特定の施設 ●一般的施設 重要機器・水槽 一般機器・水槽 重要機器・水槽 一般機器・水槽 上層階 2.0 (2.0) 1.5 (2.0) 1.5 (2.0) 1.0 (1.5) 屋上および塔屋 <2.0 <1.5 <1.5 <1.0 中間階 1.5 (1.5) 1.0 (1.5) 1.0 (1.5) 0.6 (1.0) 1階 1.0 (1.0) 0.6 (1.0) 0.6 (1.0) 0.4 (0.6) および地下階 <1.5 <1.0 <1.0 <0.6
	○建設発生土の処分	注1 () 内の値は防震支障の機器の場合、() の値は水槽類に適用する。 ○構外搬出適切処理(運搬費・処分費を含む) ○処分地: () ○構内指示の場所に敷さならし ○構内指示の場所にたい積 ○現場説明書による
	○環境への配慮	(1) 「排出ガス対策型建設機械指定要領」および「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(国土交通省)による排出ガス対策型および低騒音型建設機械を使用する。 (2) 発生材の処理等 再生資源化を図るもの ○アスファルト・コンクリート塊 ○コンクリート塊 ○建設発生木材 ○建設汚泥 (3) 再生資源の利用 ※再生カラッシャラン ※再生アスファルト合材 (4) 提出書類 以下の書類について、提出用ファイル(電子データ)を監督職員に提出する。 ① 再生資源利用(計画・実施)書 ② 再生資源利用促進(計画・実施)書
	○グリーン購入調達	資料、工法、建設機械において、工事の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「福井県庁グリーン購入推進方針(平成13年4月27日策定)」に基づき環境資材等の使用を積極的に推進するものとし、その調査実績を記録した「公共工事に係るグリーン購入調達記録表」を監督職員に提出する。
	○情報共有システム	※利用しない (ただし、受注者より利用したい旨の申入れがあった場合は、発注者はこれを承諾する。) ○利用する (情報共有システム運用ガイドライン(案)福井県版を基に、福井県仕様のシステムに登録し利用すること。)
	●電子納品	(1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品は、「電子納品の手引き(案)福井県版」(以下「要領」という。)に基づいて行う。 (2) 成果品は「要領等」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体(CD-R)で2部提出する。 (3) 电子成果品の提出の際には電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルスチェックを実施したうえで提出する。 (4) 完成検査までに(公財)福井県建設技術公社に電子納品保管管理システムの登録料を支払い、完成検査終了後、正を監督職員に副さ(公財)福井県建設技術公社に提出する。
	●電子納品の対象	工事関係資料のうち電子納品の対象とする納品資料を下表に示す。 詳しいについては、「電子納品の手引き(案)福井県版」による。 フォルダ名称 資料大分類 ファイル形式 PLAN 施工計画書 PDF形式 SCHEDULE 工程表 PDF形式 MEET 打合せ簿 PDF形式 MATERIAL 機材関係資料 PDF形式 PROCESS 施工関係資料 PDF形式 INSPECT 檢査関係資料 PDF形式 SALVAGE 生残材関係資料 PDF形式 DRAWINGF 完成図 ※SXF(sf)形式および※JW-CAD形式 MAINT 保全に関する資料 PDF形式 OTRS 契約関係資料 PDF形式 (注1) 施工図 ※SXF(sf)形式 完成写真 JPEG形式 (注3) 工事実績情報 PDF形式 工事の一時中止 PDF形式 工期の変更 PDF形式 文化財その他の修理費 PDF形式 その他の資料 PDF形式 (注4) 工事写真 JPEG形式 (100万画素程度)
	○既設配管接続部の試験	既設配管を含む部分の試験 ※要(監督職員の指示による)
	○埋設配管の防食処理	標準仕様書第2編2.7.3または改修標準仕様書第2編2.5.3による。 土中埋設の排水用塩ビラギング鋼管は、防食処置を行う。 鋼管、ステンレス管、船管および鋼管等のコンクリート埋設および貫通部分は、プラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。

工事名称 小浜キャンバス交流センター エレベータ更新工事
面番号 01
E.V. 14
面図名称 機械設備工事特記仕様書 (その1)
縮尺 NO SCALE

注1: 元請・下請負関係届出書、現場指示書は契約関係資料に入れる。それ以外については手引きによる。

注2: ファイル形式は上表による。これによらない場合は監督職員と協議する。

注3: 完成写真是電子写真的他、[○四つ切り

●屋外埋設配管		標準仕様書第2編 2.7.1 または改修標準仕様書第2編 2.5.1 による。 (1) 埋設深度は、次のとおりとする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 ※地表面（舗装がある場合は、舗装下面（路盤））から 300mm 以上 ※車両道路（構内車両道路程度） 地表面から 600mm 以上 ○ 地表面から mm 以上 (2) 配管下端（管底+100mm）および配管上端（管頂+100mm）に砂地業（山砂類または再生材）を施したあと、根切り中の良質土で埋戻す。 (3) 管を埋戻す場合は、土被り 150mm 程度の深さに埋設表示用アルミテープまたはポリエチレンテープ等を埋設する。ただし、排水管は不要とする。 (4) 曲りおよび分岐部には地中埋設構を打込むこと。																							
●屋内埋設配管		(1) 給水、ガスおよび消防配管は、土間コンクリート直下の地業部分に配管し、周囲を砂で埋戻す。 (2) 排水管も上記に準じ、配管上部の地業は砂に置き換える。 (3) 配管は原則として、土間コンクリートより吊りボルトにて吊り下げる。吊り間隔は屋内配管に準ずる。																							
●保温および塗装		(1) 標準仕様書ロックウール保溫材、グラスウール保溫材及びポリスチレンフォーム保溫材が併記されている箇所は、いずれかを使用する。ただし、給水管については、暗渠内（ビット含む）、屋外露出および浴室、厨房等の多温箇所につきポリスチレンフォーム保溫材とし、排水管については、浴室、厨房等の多温箇所につきポリスチレンフォーム保溫材とする。 (2) 屋外露出配管（冷媒管を除く）の保溫外装材は次による。 ○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 (3) 屋内露出配管（冷媒管を除く）の保溫外装材は、原則、合成樹脂製カバー1とする。 (4) フレーナなどの金属製カバーおよびタンク類の保溫外装材の種別は、次による。 ○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 ○アルミニウム板 ○アルミニウム板 (5) 車庫に露出のダクトおよび配管の保溫は、機械室による。 (6) 各場所に露出の保溫を施さないダクトおよび配管の塗装は以下による。 外壁廻り ○要 ○不要 書庫 ○要 ※不要 屋上階 ○要 ※不要 機械室 ○要 ○不要 車庫 ○要 ※不要 一般居室、廊下 ※要 ○不要 倉庫 ○要 ※不要 (7) 合成樹脂製支持受 ※硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの																							
共通適用項目	○吹出口および吸込ボックス		ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛板製とする。ただし、グラスウール製とする場合は JIS A 4009（空調用および換気設備用ダクトの構成部材）によるものとし、厚さ 0.6mm 以上の亜鉛板で補強を施したものとする。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによらない場合は監督職員との協議による。																						
	○エポキシ樹脂ラインニング		エポキシ樹脂コーティングおよびライニングの乾燥方法は次による。 ※加熱乾燥 ○常温乾燥																						
	○電線類および電線管		電線類および電線管等については標準仕様書第4編第1章第5節による。 電線類は原則としてEM電線およびEMケーブルを使用する。																						
	○ボックス		樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																						
	○容量等の表示		機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 但し、電動機の出力、燃料消費量および圧力損失は表示された数値以下とする。																						
	○誘導電動機		電動機出力が 0.75kW 以上の中低圧三相が形誘導電動機の規格は、JIS C 4213（中低三相が形誘導電動機－中低トランジーモータ）による。																						
	○スリーブ		柱、梁および耐震壁以外の箇所で、開口補強が不要、かつ、スリーブ径が 200φ 以下の部分に対する場合は、紙製仮板を使用してもよい。その場合は、変形防止の措置を講じ、かつ配管施工前に仮板を必ず取り除く。																						
	○鋼材工事		機器付属物および配管、ダクトの支持金物は標準仕様書第2編第4章第6節または改修標準仕様書第2編第7章第6節による。																						
	○はつり及び穴開け		はつりおよび穴開けを行なう場合は、改修標準仕様書第2編第4章による。																						
	○防煙ダンパーおよび防火防煙ダンパー		ダクトはつりおよびチャンバー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は次による。 (1) 消音内貼り部分の外部保溫は ○要 ※不要 (2) チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (3) 空気調和機に取付けるサプライチャンバー、レタンドクタ系で消音内貼りしたチャンバーには、内貼り仕様または断熱戸の点検口を設ける。																						
○防火区画貫通部等の処理		(1) 標準仕様書第2編2.8.1(1) または改修標準仕様書第2編2.6.1(1) による。 (2) 大臣認定を受けた工法で施工する場合は、認定書の写しを提出し、監督職員の承諾を受けるとともに、認定工法の表示を行う。																							
○取付栓		防火区画間に取り付ける吹出口、吸込口等で取付栓を必要とするものは銅栓を使用する。																							
○防火区画		○平面図 ○国示 ○																							
●掲示板		機械室に操作順序、注意事項、連絡先および系統図などを記入した掲示板を設ける。																							
○他工事との取り合い		図面に待記なき場合は、表-2「工事区分表」によるほか、機器の設置位置等取り合いの検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																							
○総合調整		下記の項目について調整する。 ○空気調和設備 ○風量調整（測定共） ○水量調整（測定共） ○室外空気の温湿度測定 ○室内気流およびじんあいの測定 ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共） ○停電・復電動作確認 ○換気設備 ○風量調整（測定共） ○室内気流およびじんあいの測定 ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共） ○停電・復電動作確認 ○排煙設備 ○風量調整（測定共） ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共） ○給水設備 ○飲料水の水質の測定 ※厚生労働大臣告示119号 第二の一の1の(4)による ○標準仕様書による ○雑用水の水質の測定 ※建物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則 第四条の2による																							
換気設備																									
○方式		○全空気方式（O中央 O各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○個別方式																							
○主要熱源機器		機器 ○吸収冷温水機 ○チリングユニット ○ボイラー ○空気熱源ヒートポンプユニット ○コージェネレーション装置 ○空冷ヒートポンプ式バッケージ形空気調和機（OEHP） ○GHP ○ 燃料 ○灯油 ○重油 ○LPG ○都市ガス ○電気（○深夜電力） ○ペレット																							
○設計時の温湿度条件		場 所 屋 外 屋 内 (調 整 目 標 値) 時 期 温 度 (D B) 湿 度 (R H) 温 度 (D B) 湿 度 (R H) 温 度 (D B) 湿 度 (R H) 夏 期 ℃ % 28 ℃ 50 % ℃ % 冬 期 ℃ % 19 ℃ 40 % ℃ %																							
○ダクトの種別		※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト																							
○ダクトの工法		○アングルフランジ法 ○コーナーボルト工法（O共板フランジ工法 Oスライドオンフランジ工法） (ただし、長辺の長さが 1,500mm 以下の部分)																							
○ダクトの分岐方法		給気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式																							
○保温および塗装		標準仕様書または改修標準仕様書の当該事項による。ただし、次の部分は本仕様とする。 (画面特記部分は除く) ○冷媒管の保温管は次による。 <table border="1"><tr><td rowspan="2">屋 内</td><td>単独配管</td><td>脇べい部</td><td>※不要</td><td>○要</td><td>○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1</td></tr><tr><td>露出部</td><td>※要</td><td>○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1</td></tr><tr><td rowspan="2">屋 外</td><td>集合配管</td><td>脇べい部</td><td>※不要</td><td>○要</td><td>○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1</td></tr><tr><td>露出部</td><td>※要</td><td>○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1</td></tr></table> ○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 ●保温化粧ケース（O樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛板製○ステンレス鋼板製） ○保温化粧ケース（O樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛板製○ステンレス鋼板製）		屋 内	単独配管	脇べい部	※不要	○要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1	露出部	※要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1	屋 外	集合配管	脇べい部	※不要	○要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1	露出部	※要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1				
屋 内	単独配管	脇べい部	※不要		○要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1																			
	露出部	※要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1																						
屋 外	集合配管	脇べい部	※不要	○要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1																				
	露出部	※要	○保温化粧ケース（塩化ビニル製） ○合成樹脂製カバー1																						
空気調和設備		屋外における保温化粧ケースの下部カバーは ○要 ※不要 とする。 保温化粧ケースを用いる場合は堅管部に止め固定を施す。 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 弁・ストレーナなどの金属製カバー外装種別は、次による。 屋内 ※カラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板 屋外 ○カラー・亜鉛板 ○溶融アルミニウム・亜鉛板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板																							
○吹出口および吸込ボックス		4) エアーアルビング管の保温厚は 20mm とし、仕様は当該配管の項に準ずる。また保温を行なう範囲はエアーアルビングまでとする。 5) 加湿用給水タンクの保温は膨張タンクに準ずる。 6) 油管の中温保温は標準仕様書第2号第2章第7節 2.7.3 (3) による。 7) 膨張管・補給水管の保温は冷温水管に準ずる。 8) 保温を施した膨張タンク等のための保温は ○要 ○不要 とする。 9) 下記部分の冷却水配管は、保温（防露）を行い、仕様は温水管の項による。 () 10) 還りダクトの保温は、保温厚さ 25mm とし、範囲は図示による。 11) 外気ダクトの保温は、保温厚さ 25mm とする。																							
○温度計		温度計は（※工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○） とし、取付部は下記による。 ○冷凍機の冷水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○直だき吸収冷温水機の冷温水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○ボイラの温水管（送り） ○空気調和機の冷温水管（送り、返り）および三方弁装置後の冷温水管（返り） ○熱交換器の温水管（送り、返り） ○冷温水ヘッダー（往）および冷温水ヘッダーの各返り管 ○空気調和機（バッケージ形を含む）のサプライチャンバー、レタンドクタ、外気取入れダクトおよびターンチャンバー																							
○圧力計		取付部は下記による。 ○冷凍機の冷水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○空気調和機の冷温水管（送り、返り） ○直だき吸収冷温水機の冷温水管および冷却水管（送りまたは返り） ○ボイラの温水管（送り） ○空気調和機の冷温水管（送り、返り）および三方弁装置後の冷温水管（返り） ○熱交換器の温水管（送り、返り） ○冷温水ヘッダー（往）および冷温水ヘッダーの各返り管 ○空気調和機（バッケージ形を含む）のサプライチャンバー、レタンドクタ、外気取入れダクトおよびターンチャンバー																							
○瞬間流量計		ピトー方式によるもので止水コック付とし、形式および取付部は下記による。 なお、着脱式支持部は（O40A用 個 ○100A用 個 ○250A用 個） 附属とする。 ○冷凍機の冷水管および冷却水管（送りまたは返り）に（O固定形 ○着脱形）を設ける。 ○直だき吸収冷温水機の冷温水管および冷却水管（送りまたは返り）に（O固定形 ○着脱形）を設ける。 ○空気調和機の冷温水管（送りまたは返り）に（O固定形 ○着脱形）を設ける。 ○冷温水ヘッダー（O送り管 ○各返り管）に（O固定形 ○着脱形）を設ける。																							
○鋼製煙道		厚さ 0.3~2mm ○4~5mm																							
○ばい煙濃度計		○設けない ○設ける（電源はボイラー制御盤より取り出し、配管配線共本工事に含む） ※ファン付き ○ファンなし																							
○ばいじん量測定口		煙道の直線部に 80φ 以上のフランジ付きの検査口を設ける。																							
○空調用ドレン管		空調用ドレン管は通水試験を行う。																							
●ダクトの種別		※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト																							
●ダクトの工法		○アングルフランジ法 ○コーナーボルト工法（O共板フランジ工法 Oスライドオンフランジ工法） (ただし、長辺の長さが 1,500mm 以下の部分)																							
○ダクトの分岐方法		給気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式																							
○厨房排気ダクトの板厚		厨房排気ダクトは亜鉛板製とし、板厚は次による。 ダクトの長辺 板厚 450mm 以下 0.6mm 450mm を超え 1200mm 以下 0.8mm 1200mm を超え 1800mm 以下 1.0mm 1800mm を超えるもの 2mm																							
○排気ダクトのシール		標準仕様書第2編 2.2.1(6) によるものとし、施工基準は下記とする。 ○厨房系統 ○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統																							
○消音ボックス送風機		標準仕様書第3編 1.1.3 の当該事項による。																							
換気設備																									
○排気フード		排気フードの補強、支持金物、接合剤等は、亜鉛板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス鋼板（補強共） ○亜鉛板 排気フード通りに取付する幕板は、上記フードと同材質とする。																							
○保温		※本工事 ○別途工事 グリースフィルタの予備 ○要 ※不要																							
換気設備																									
●排煙対象部分		○下部 ○事務室 ○図示 最大面積 m ²																							
●ダクトの種別		○高圧1ダクト ○高圧2ダクト																							
●ダクトの工法		※アングルフランジ法 ※コーナーボルト工法（O共板フランジ工法 Oスライドオンフランジ工法） (ただし、長辺の長さが 1,500mm 以下の部分)																							
●ダクトの分岐方法		給気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式																							
○厨房排気ダクトの板厚		厨房排気ダクトは亜鉛板製とし、板厚は次による。 ダクトの長辺 板厚 450mm 以下 0.6mm 450mm を超え 1200mm 以下 0.8mm 1200mm を超え 1800mm 以下 1.0mm 1800mm を超えるもの 2mm																							
○排気ダクトのシール		標準仕様書第2編 2.2.1(6) によるものとし、施工基準は下記とする。 ○厨房系統 ○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統																							

1 「配管材料区分」

用 途		名 称・種 類	
配管	冷温水管・膨張管・エア抜き管・膨張タンクより、ボイラー室への補給水管	※配管用炭素鋼管(SGP白) ○耐熱性ライニング鋼管	○ステンレス鋼管 ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)
	冷却水管	※配管用炭素鋼管(SGP白)	○ステンレス鋼管 ○耐熱性ライニング鋼管 ○塗ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○ボリ粉末ライニング鋼管
	蒸気給気管	※配管用炭素鋼管(SGP黒)	○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)
	蒸気遮管	※圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)	○ステンレス鋼管
	油 管（一般配管）	※配管用炭素鋼管(SGP黒)	
	〃（地中配管）	※ボリエチレン被覆鋼管	○ステンレス鋼管
	空調用給水管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管(SUS304)（呼び径605u以下は括管式、呼び径755u以上は溶接接合） ○ボリ粉末ライニング鋼管	○塗ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)
	空調用排水管	※排水用硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	○配管用炭素鋼管(SGP白)
	冷 媒 管	※断熱材被覆鋼管	○鋼管 ○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)
	パッケージ形空気調和機の2次側配線の仕様は製造者の標準仕様とする。		
配管	一般配管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管(SUS304)（呼び径605u以下は括管式、呼び径755u以上は溶接接合） ○塗ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)	○ボリ粉末ライニング鋼管
	地中配管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径605u以下は括管式、呼び径755u以上は溶接接合） ○水道用ポリエチレン管（呼び径50以下） ○水道配用ポリエチレン管(JWWA K144)（継手は電気融着式）（呼び径75以上）	○塗ビライニング鋼管(SGP-VD, SGP-FVD)
配管	屋 内 雜 排 水 管 （地中埋設部）	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	○排水用塗ビライニング鋼管
	屋 内 汚 水 管 （地中埋設部）	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	○排水用塗ビライニング鋼管
	屋外汚水・雑排水管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	○硬質ポリ塩化ビニル管(VU)
	通 気 管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ○排水用塗ビライニング鋼管 ○配管用炭素鋼管(SGP白)	
	ポンプアップ排水管	[汚水・雑排水] ※塗ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) [湧水] ※塗ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)	○コーティング鋼管 ○配管用炭素鋼管(SGP白)
		継手はフランジまたはハーウィング形継手とする。 (ただし汚水・雑排水槽内は塗ビライニング鋼管(SGP-FVD)とする。)	
	（地中埋設部）	[屋外] ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	
	衛生器具との接続管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	
	配管材においてリサイクル材が指定された場合、規格サイズがないものについては、リサイクル材を使用しなくてもよい。		
配管	※鋼管（壁または床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。） ○ステンレス鋼管(SUS304)	○ステンレス鋼管 (SUS316)	
	（呼び径 605u 以下は括管式、呼び径 755u 以上は溶接接合）		
配管	一般配管	※配管用炭素鋼管(SGP白)	○圧力配管用炭素鋼管(STPG白)
	地中配管	[屋内および屋外] ※外面被覆鋼管 (SGP-VS)	
	特殊消火管	※圧力配管用炭素鋼管(STPG370 白 Sch80)	
管	屋内配管	※配管用炭素鋼管（白）	○合成樹脂被覆鋼管
	屋外配管	※ボリエチレン管	○被覆鋼管(PS)

図面特記部分は除く。

2 「工事区分表」

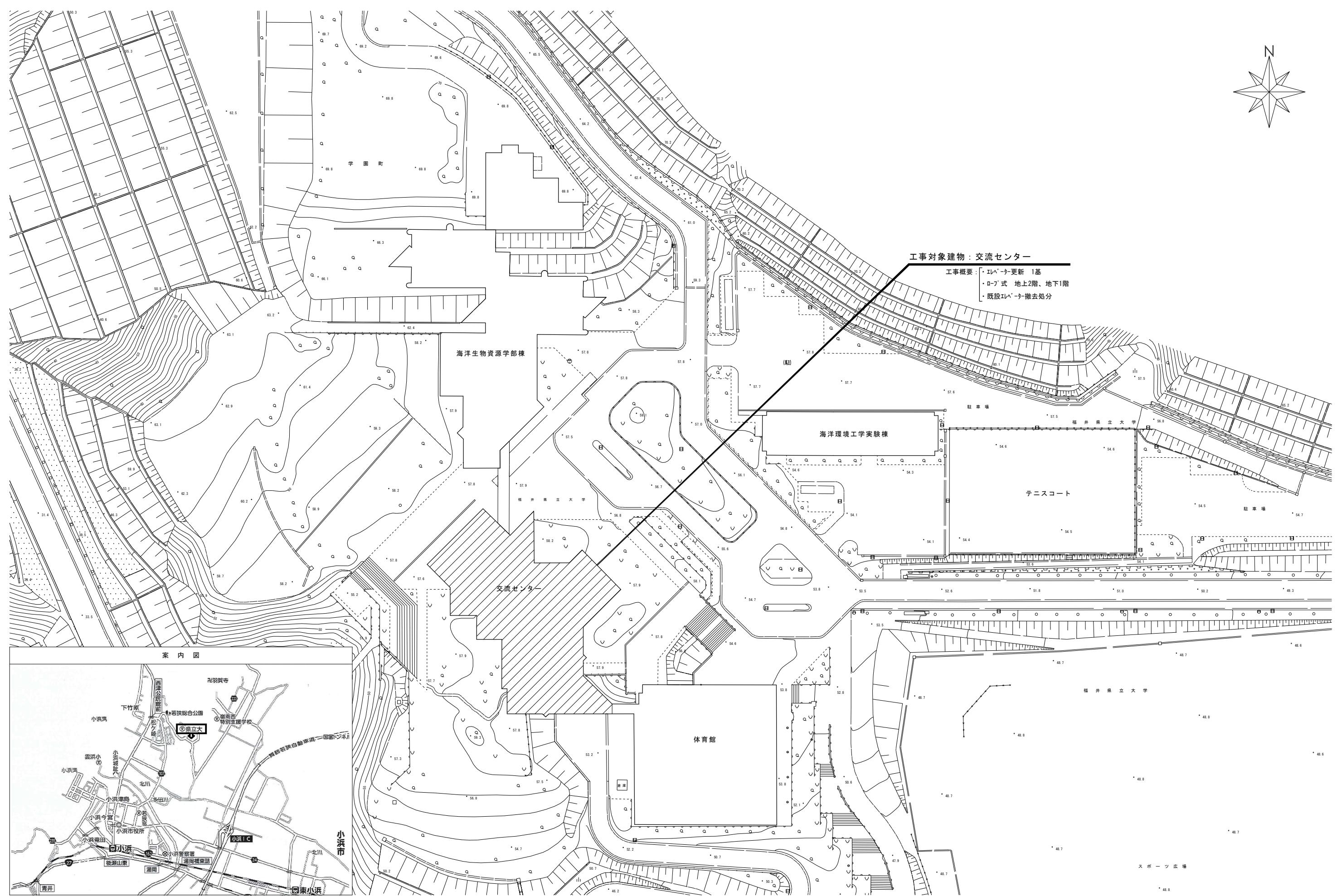
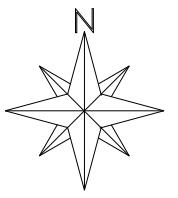
工事内容	建築	電気	機械
屋内基礎		●	●
屋上基礎	●		
屋外基礎		●	●
架台、アンカーボルト		●	●
特記した基礎	●		
下地補強			
S・SRC造梁の貫通部	補強 スリーブ	● ●	
R C造梁・床・壁の貫通部	補強 スリーブ 型枠	● ● ●	
軽量鉄骨下地天井・壁の開口部	補強 補強を要する切込み 補強を要しない切込み	● ● ●	
貫通部・開口部の穴埋め補修			
貫通部・開口部の墨出し		●	●
床、天井点検口	●		
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	●	
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジ含む	●	
雨水排水	配管、樹、蓋	●	
汚水、雑排水	配管、樹、蓋		●
機器等へ直接接続する配管配線		●	
機器付属の制御盤以降の配管配線(接地共)		●	●
機器付属の制御盤への電源供給配管配線		●	
機器と専用操作スイッチの取り配管配線		●	●
バッケージ形空気調和機の次側配管配線(接地共)			●

嘉福コンサルタント株式会社

福井県 小浜市木田 1 号 2番地 1 TEL : (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録 第 1-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

工事名称
上近点水道改修工事
二〇一六年九月更新

小浜キャンバス交流センター エレベータ更新工事	02
面図名称 機械設備工事特記仕様書（その2）	E V 14



改修仕様

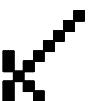
項目	現状	改修後
機種	機械室有りロープ式エレベーター	同左
用途	乗用（車いす用）	同左
制御方式	可変電圧可変周波数制御方式	同左
操作方式	セレクチブ・コレクチブ	同左
積載量・定員	750kg・11名	同左
速度	60m/min	同左
戸閉方式	電動式 二枚戸中央開き式	同左
停止階	B1、1、2階 計3停止	同左
出入口寸法	巾 800mm×高さ 2100mm	同左
かご内法	間口 1400mm×奥行 1350mm	同左
動力電源	三相210V 60Hz	同左
照明電源	単相100V 60Hz	同左
巻上機	EM-2430	PMF011MB
ソナ車	径 620mm	径 550mm
モーター容量	7.5kW	4.8kW
ロープ	径 12mm×4本 1:1ローピング	径 12mm×4本 1:1ローピング
レール	カゴ側 8kg/m・オモリ側 5kg/m	カゴ側 T89/B・オモリ側 5kg/m
緩衝器	バネ式	油圧式
戸開走行保護装置	無し	有り
耐震基準	1981年耐震基準	2014年耐震基準（A14）
敷居間隙	30mm	30mm
インターホン	24V多局形インターホン	24V多局形インターホン
ドアセンサ機能	光電ビーム（2本）	マルチビームドアセンサ（2D）
地震時管制運転	S波センサ	P波センサ
停電時自動着床装置	有り	有り
車いす仕様	有り	有り
視覚障害者対応仕様	有り	有り
火災時管制運転	無し	有り
遮煙ドア	無し	有り
音声合成アナウンス	有り	有り
気配りドア	無し	有り
非常放送スピーカー	有り	有り
高調波対策	無し	有り
係員管理盤	有り	有り（既設品流用）
冠水時管制運転	無し	有り
乗場休止SW（監視盤）	有り	有り
国土交通省仕様	有り	有り（平成31年度版）

工事区分

項目	現状	改修後	
三方枠	全階：ステンレスヘアーライン仕上 小枠	全階：ステンレスヘアーライン仕上 小枠	
戸	全階：鋼板塗装仕上	全階：鋼板塗装仕上	
敷居	全階：硬質アルミ製	全階：硬質アルミ製	
乗場仕様	位置表示器 一般用押ボタン 車いす用押ボタン	アナログ点灯式 押ボタン一体型 アルミアルマイト仕上 ストロークボタン アルミアルマイト仕上 ストロークボタン 一般用ボタン連結型	デジタル点灯式 押ボタン一体型 ステンレスヘアーライン仕上 ステンレス化粧板付 凸文字クリックボタン（既設BOX流用） ステンレスヘアーライン仕上 ステンレス化粧板付 凸文字クリックボタン（既設BOX流用） 一般用ボタン連結型
天井	鋼板塗装仕上 乳白色樹脂グローブ照明（蛍光灯）	鋼板塗装仕上 乳白色樹脂グローブ照明（LED）	
袖壁	化粧フィルム貼仕上	ステンレスヘアーライン仕上	
壁	化粧フィルム貼仕上	化粧フィルム貼仕上	
戸	化粧フィルム貼仕上（目地付）	化粧フィルム貼仕上（目地付）	
出入口上板	化粧フィルム貼仕上	化粧フィルム貼仕上	
出入口柱	アルミアルマイト仕上	ステンレスヘアーライン仕上	
巾木	アルミアルマイト仕上	アルミアルマイト仕上	
かご室仕様	敷居 床 一般用かご操作盤 車いす用かご操作盤 かご内位置表示器 手摺 鏡 キックプレート 視覚障害者用マット	硬質アルミ製 ゴムタイル 3mm アルミアルマイト仕上 ストロークボタン アルミアルマイト仕上 ストロークボタン かご操作盤組み込み デジタル点灯式 アルミ製パイプ銀白色仕上（二面壁取付） 線入り鏡 鏡枠アルミ製 ステンレスヘアーライン仕上 付き	硬質アルミ製 ゴムタイル 3mm ステンレスヘアーライン仕上 凸文字クリックボタン ステンレスヘアーライン仕上 凸文字クリックボタン かご操作盤組み込み セグメントLED点灯式 ステンレス製パイプヘアーライン仕上（二面壁取付） ステンレス製鏡面材（2.5t） 鏡枠：ステンレス ステンレスヘアーライン仕上 付き

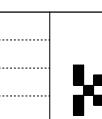
注意事項

- コンクリート強度は21N/mm²以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不balance率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
 - 月平均湿度90%以下・日平均湿度95%以下
 - 金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
 - 乗場に雨水が侵入するおそれがある場合は、ひさし・床勾配・排水溝などを設置のこと
 - 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
 - エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離すること
 - エレベーター用電源トランジスト通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランジストを分離すること
 - エレベーターのアース線と通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランジストのアース線を分離すること
 - 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
 - エレベーター動力トランジストの中性点用アース線の独立配線と接地極の分離をすること
 - 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は概ね250kg以下とすること
 - エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること
 - 機械室発熱量 500W（サーモ制御を行う）(40°C以下)



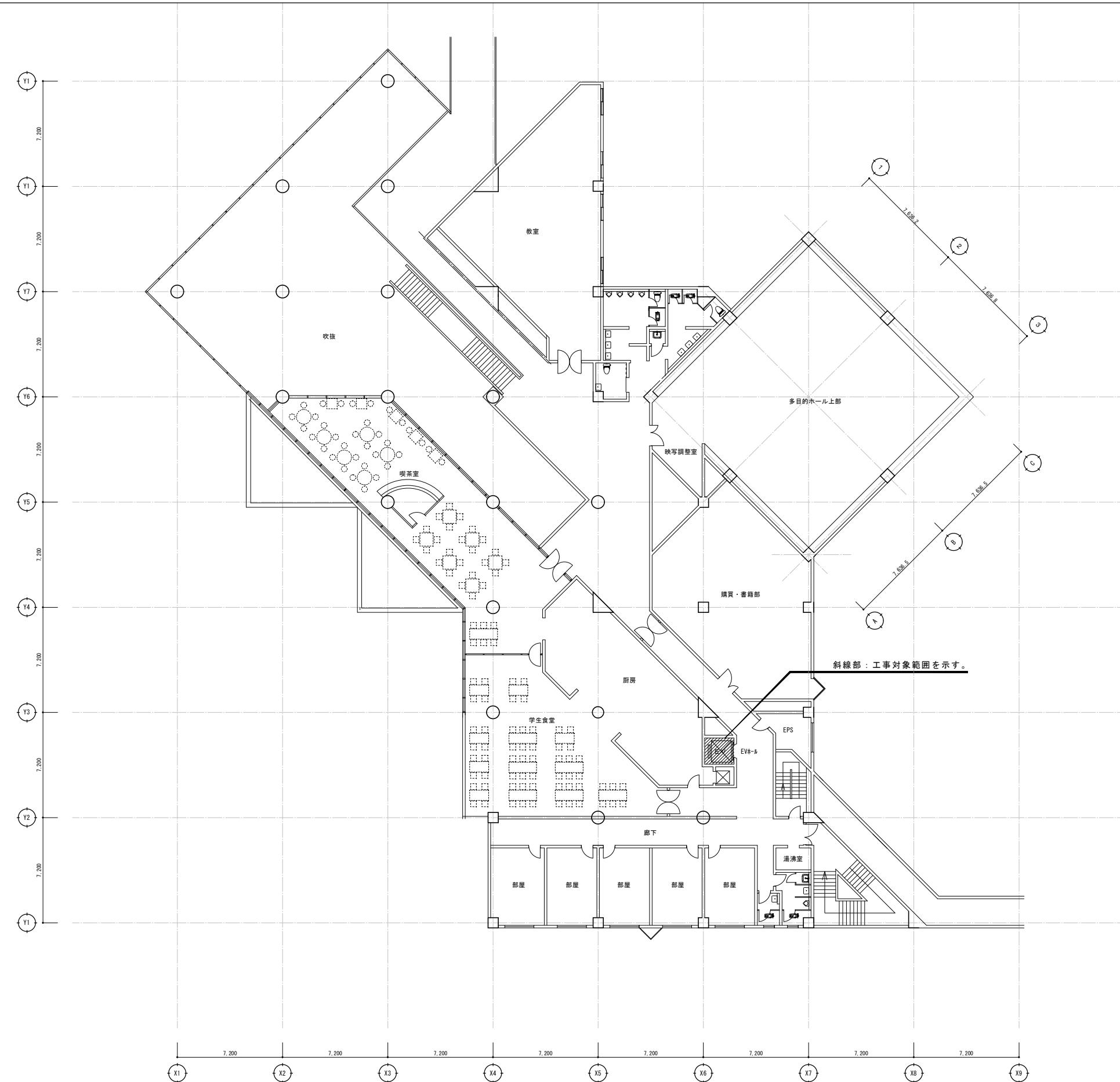
京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第33847号 神崎 洋孝

令和3年7月	工事名称	図面番号
	小浜キャンパス交流センター エレベーター更新工事	EV 04
	図面名称 改修概要・工事区分	縮尺 NO SCALE 14

| 京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝 |


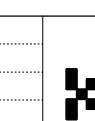
京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和3年7月	工事名称	図面番号
	小浜キャンパス交流センター エレベータ更新工事	E V 05
	図面名	14
	1階・B1階平面図	1/150



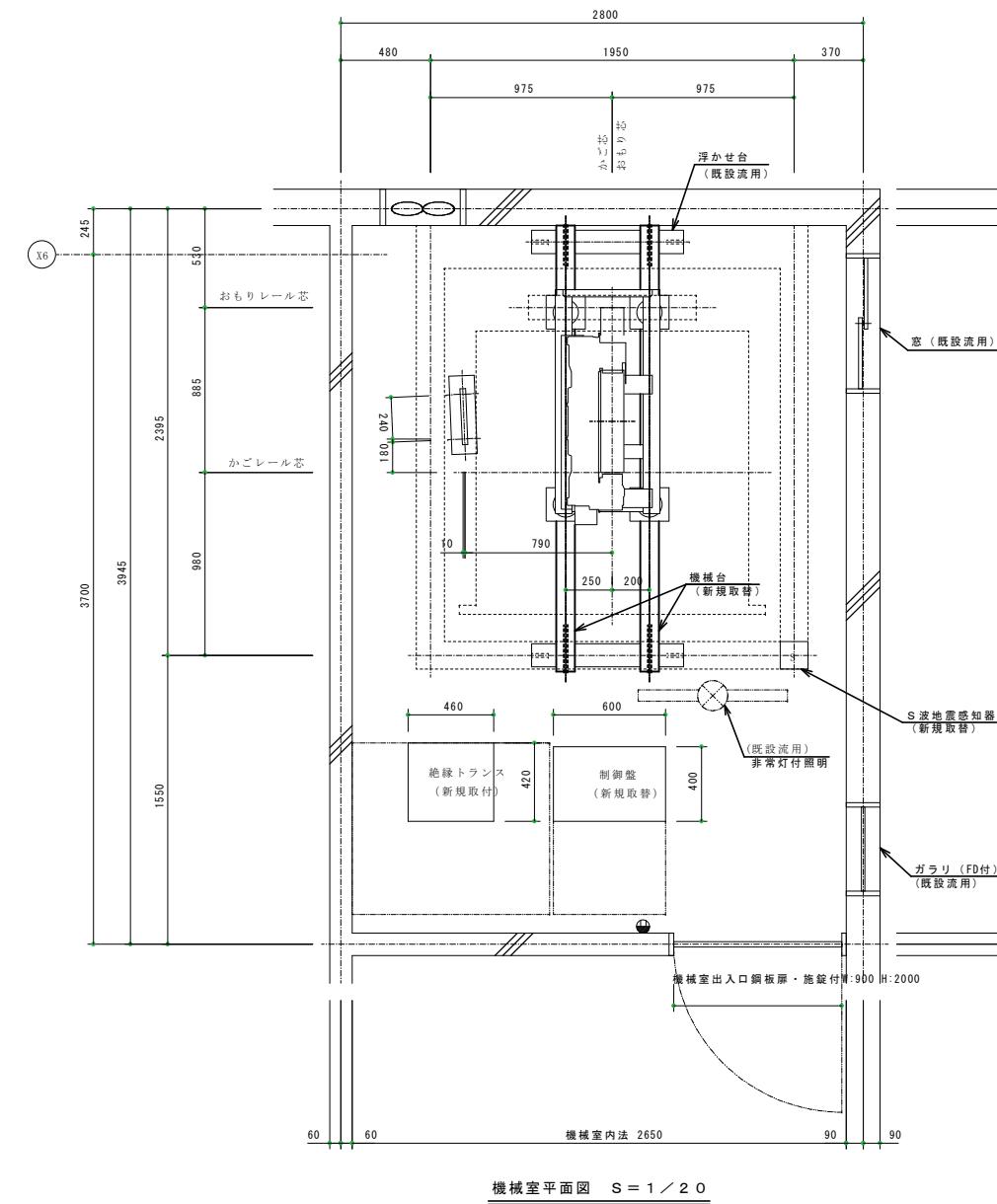
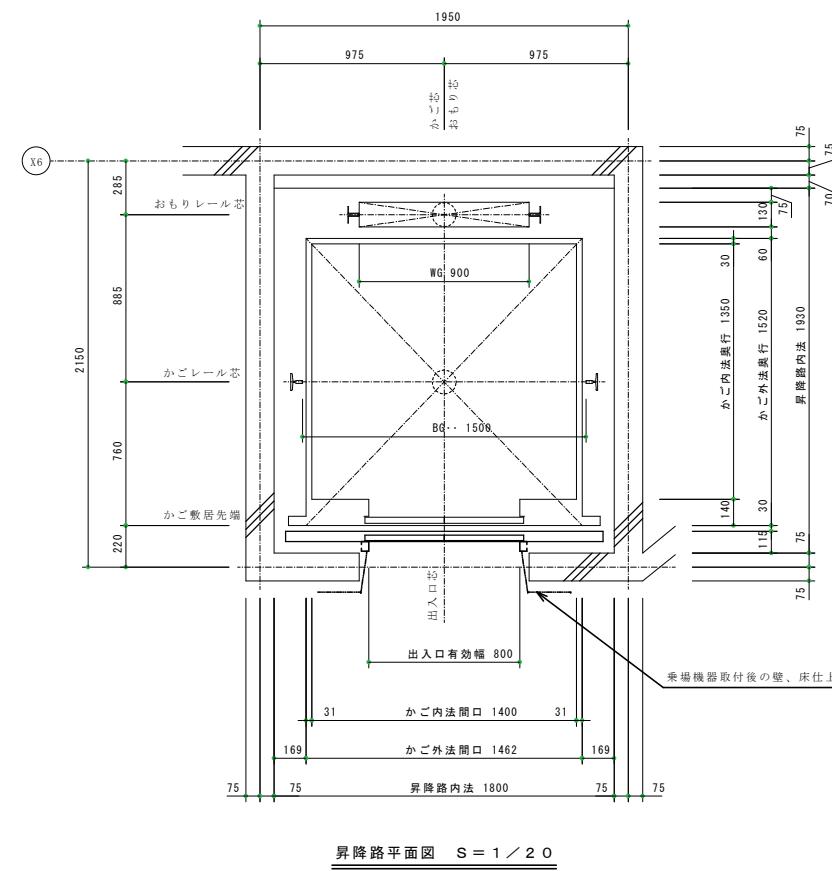
【 2階平面図 S=1/150 】

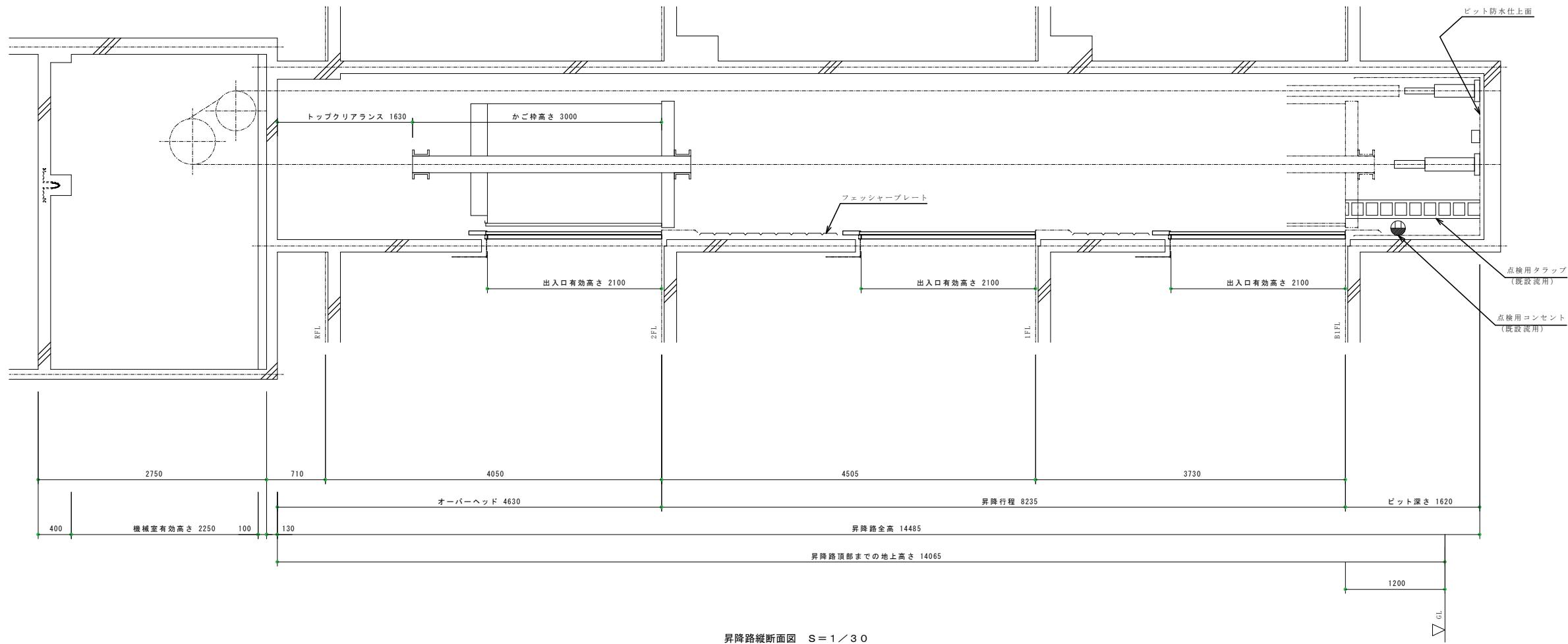
京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝



京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

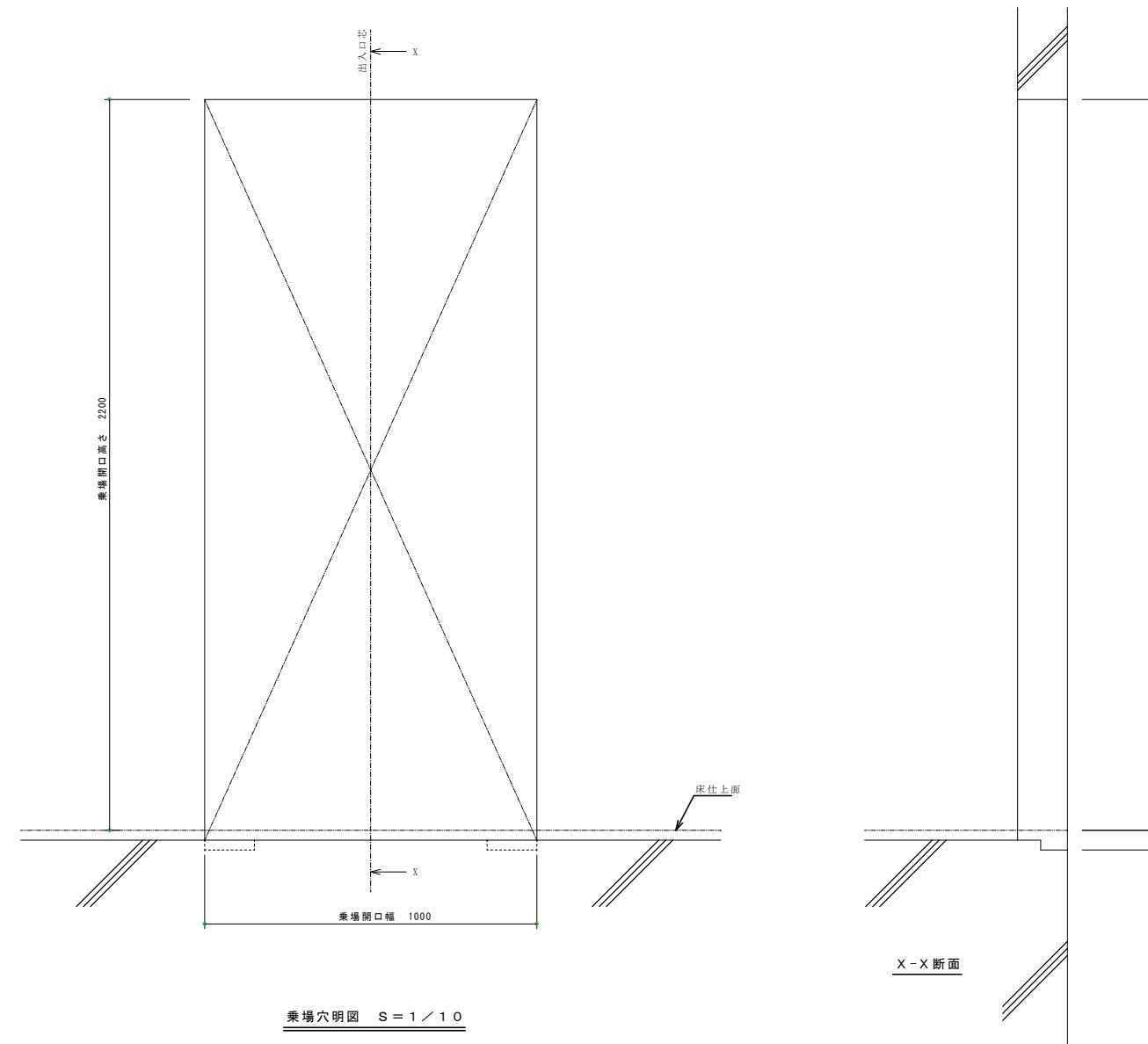
令和3年7月	工事名称	図面番号
	小浜キャンパス交流センター エレベータ更新工事	E V 06
図面名稱		1/150
2階平面図	14	





京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和3年7月	工事名	小浜キャンパス交流センター エレベータ更新工事	図面番号
			EV 08-14
	図面名	昇降路縦断面図	縮尺

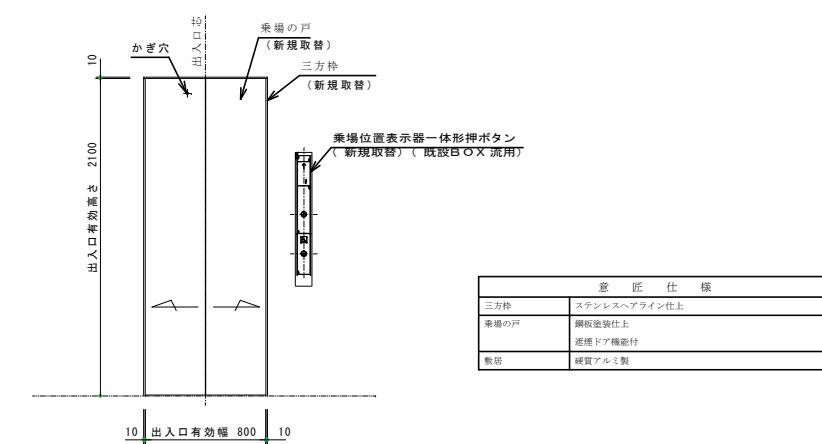
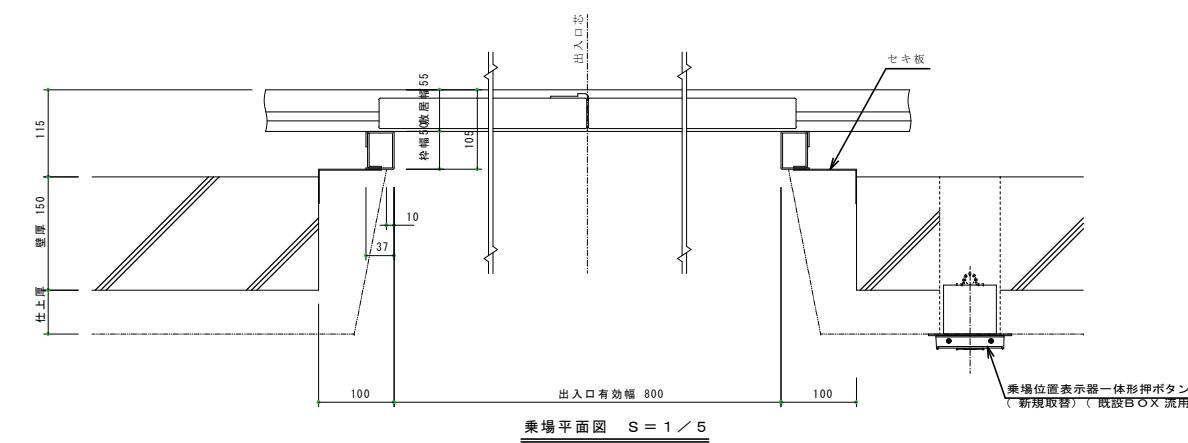
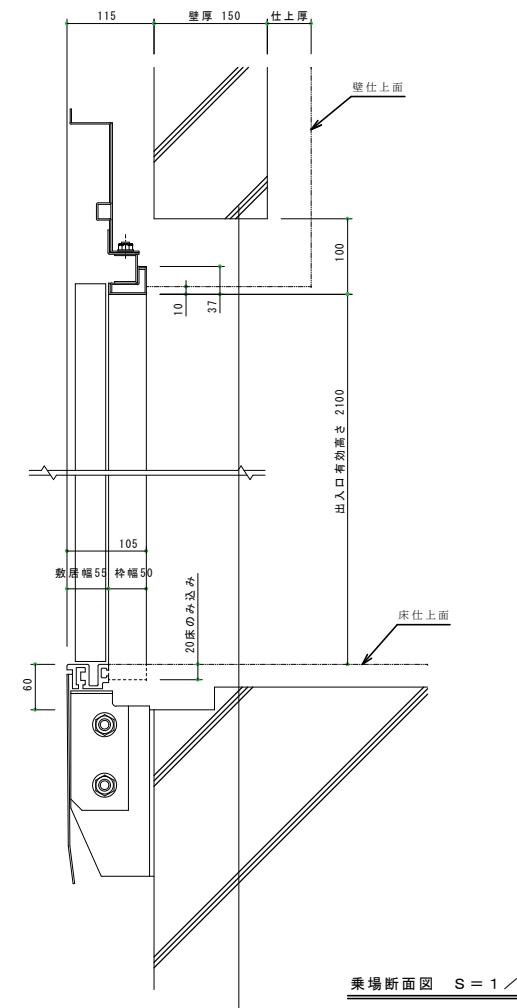


京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

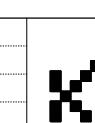
	令和3年7月	工事名称
		小浜キャンバス交流センター エレベータ更新工事

図面名稱	縮尺
乗場穴明図	1/10

図面番号
09
EV 14

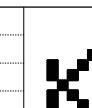
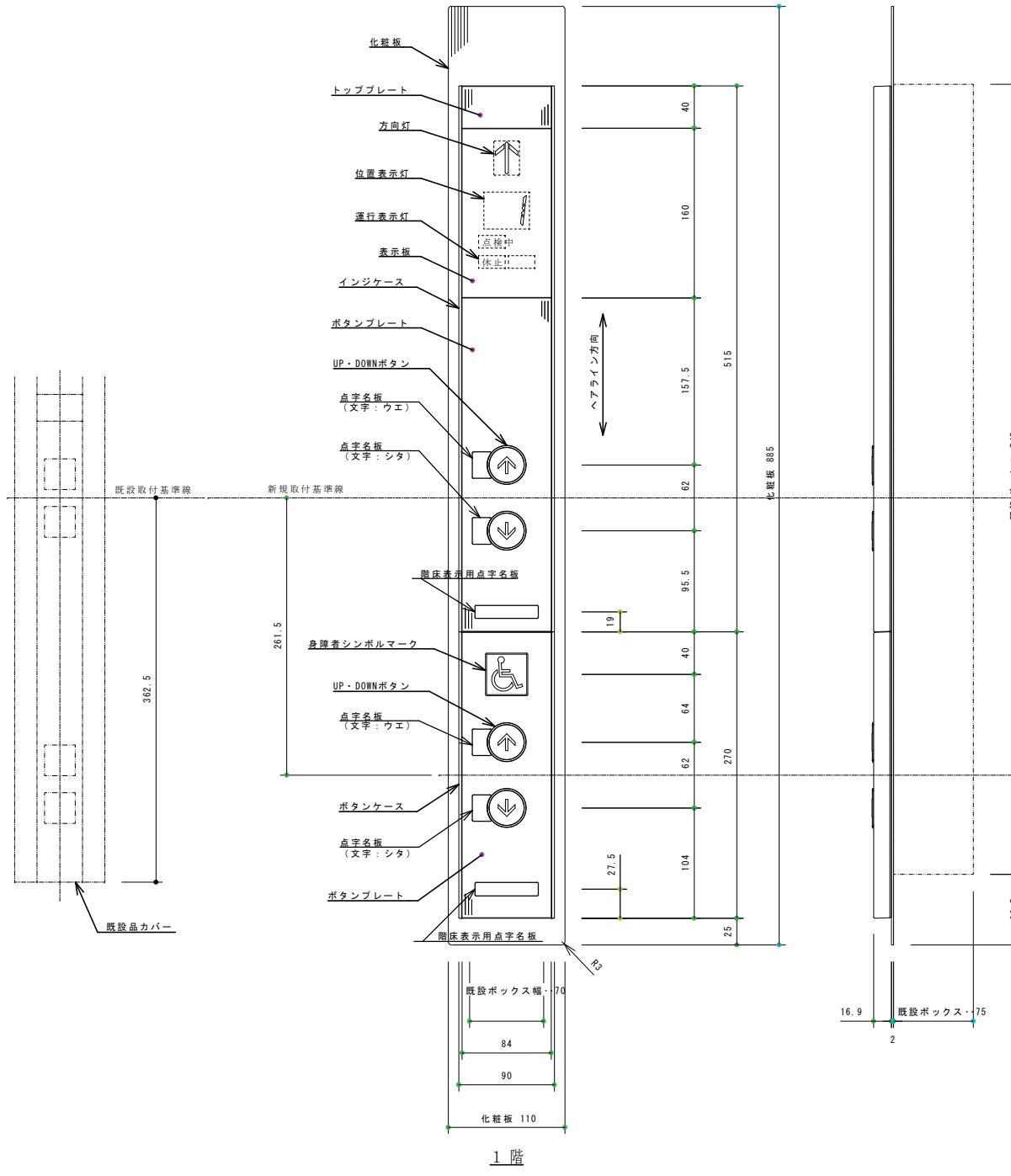


京福コンサルタント株式会社	令和3年7月	工事名称
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345		小浜キャンパス交流センター エレベータ更新工事
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号		図面名稱
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝		乗場意匠図



京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

図面番号	10
E V	14



乗場位置表示器意匠図 S = 1 / 3



京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL:(0770)56-2341
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 淳

The figure shows a detailed technical drawing of a button assembly and its mounting details. It includes two views of the button mechanism, a side view of the mounting plate, and a cross-sectional view of the board assembly.

UPボタン (Left View): Shows the button mechanism with dimensions: Φ37 (ボタン穴), Φ36.6 (ボタン栓), Φ33 (ボタン), ボタン, ボタン栓, ボタン栓, and ポタン栓. The height of the button is indicated as 1.3, and the distance from the base to the center of the button is 0.8. The distance between the centers of the two buttons is 0.5.

DOWNボタン (Right View): Similar to the UP button, it shows the button mechanism with dimensions: Φ37 (ボタン穴), Φ36.6 (ボタン栓), Φ33 (ボタン), ボタン, ボタン栓, ボタン栓, and ポタン栓. The height of the button is indicated as 1.3, and the distance from the base to the center of the button is 0.8. The distance between the centers of the two buttons is 0.5.

ボタン詳細 S = 1 / 3: A title bar indicating the detail number and page number.

UP・DOWNボタン用 (Left): A cross-sectional view of the button mechanism showing the internal structure with dimensions: 25, R18.5, 14, 18.5, and R7.

階床表示用 (Right): A cross-sectional view of the button mechanism showing the internal structure with dimensions: 12.5, R7, and 59.5.

点字名板詳細 S = 1 / 3: A title bar indicating the detail number and page number.

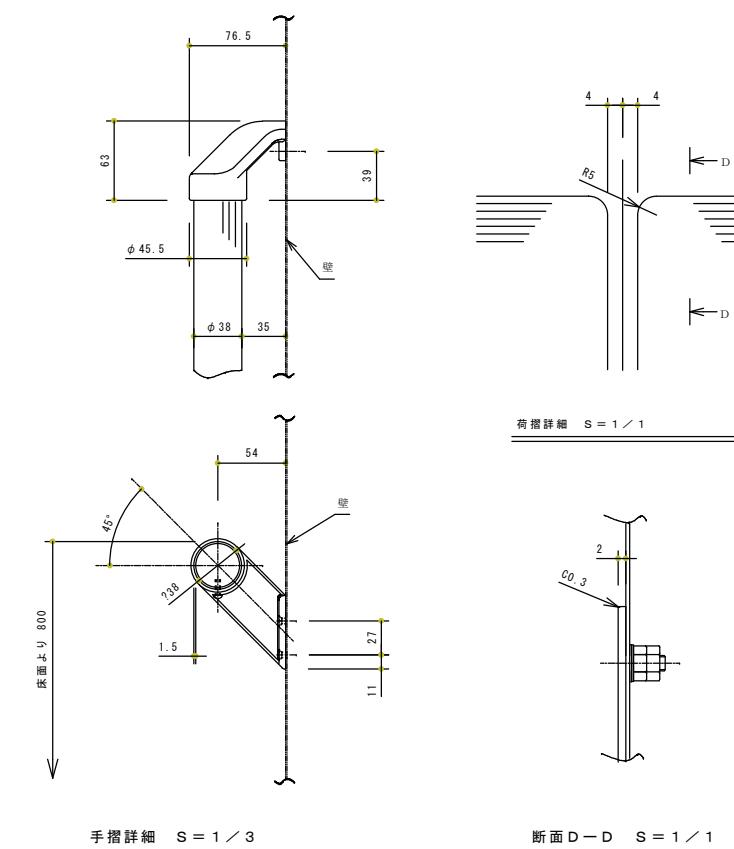
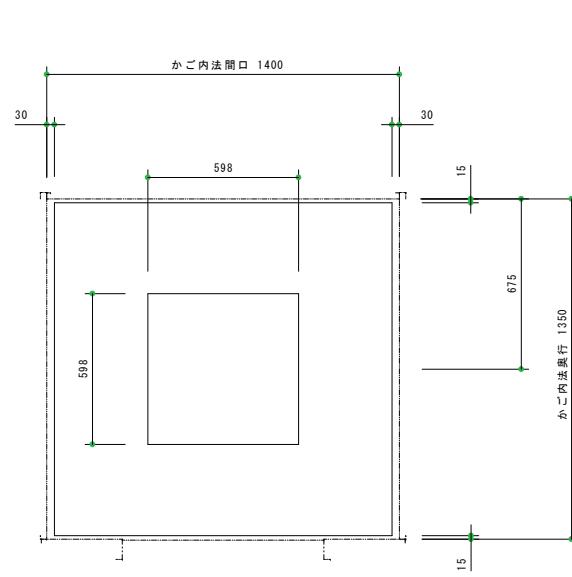
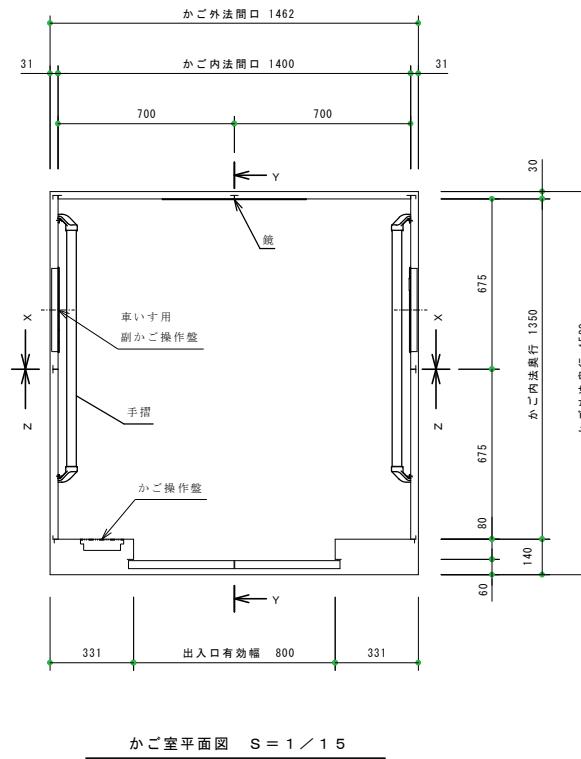
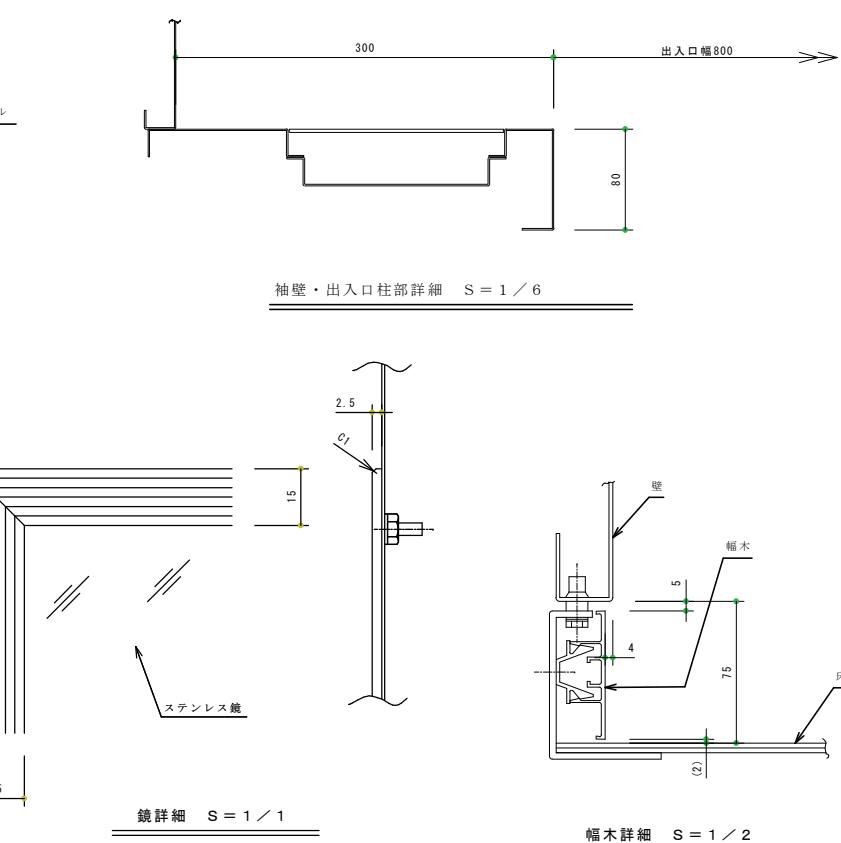
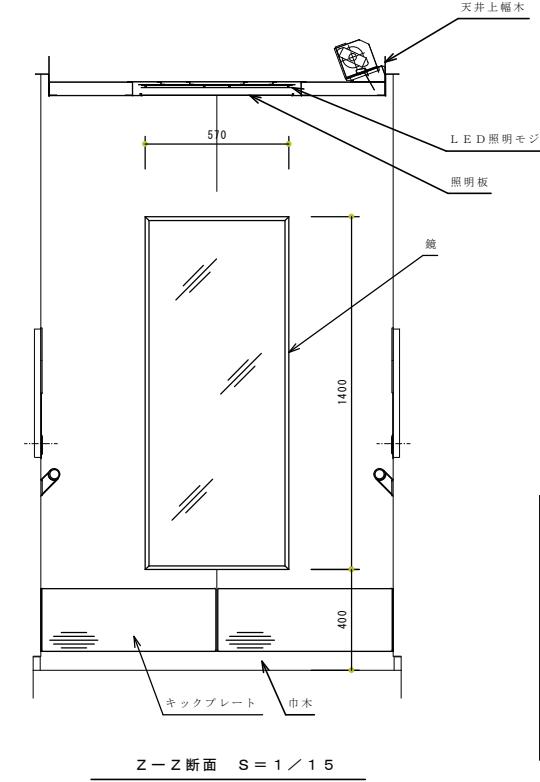
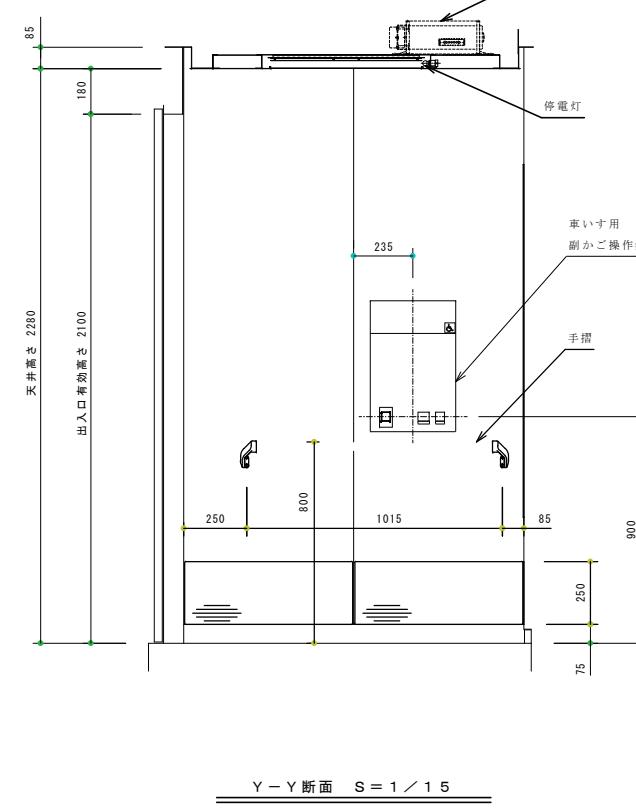
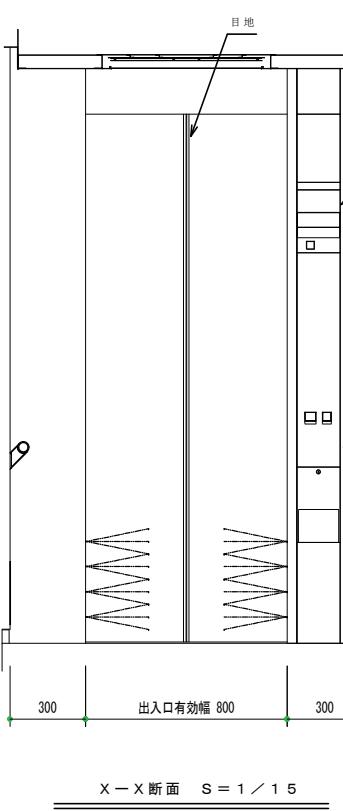
意匠仕様 (Design Specification): A table detailing the design specifications for various components:

意匠仕様	
化粧板	ステンレスヘアライン仕上 t 2.0
トッププレート ボタンプレート	ステンレスヘアライン仕上 t 2.0
表示板	プラスチック (グレースモーク)
インジケース ボタンケース	プラスチック (ブラック)
方向灯・位置表示灯	LED (オレンジ点灯)
運行表示灯	LED (オレンジ点灯)
UP・DOWNボタン	ボタン : ステンレスバイプレーション マーク : プラスチック (白) 凸形状 ボタン栓 : 透明 応答灯点灯箇所 : マーク及びボタン栓 応答灯 : LED (黄橙色点灯)
身障者マーク	プラスチック (シール式) マーク : 白 その他 : 青
点字名板	プラスチック (表面マット仕上) 色 : SUS調シルバー 取付 : 接着

.....

 京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録第1871号
一級建築士 第十国士交通大臣登録 第338447号 神崎 誠考

令和3年7月		工事名称 小浜キャンパス交流センター エレベータ更新工事	図面番号
		図面名称 乗場位置表示器意匠図	縮尺 E V $\frac{11}{14}$
			1/3



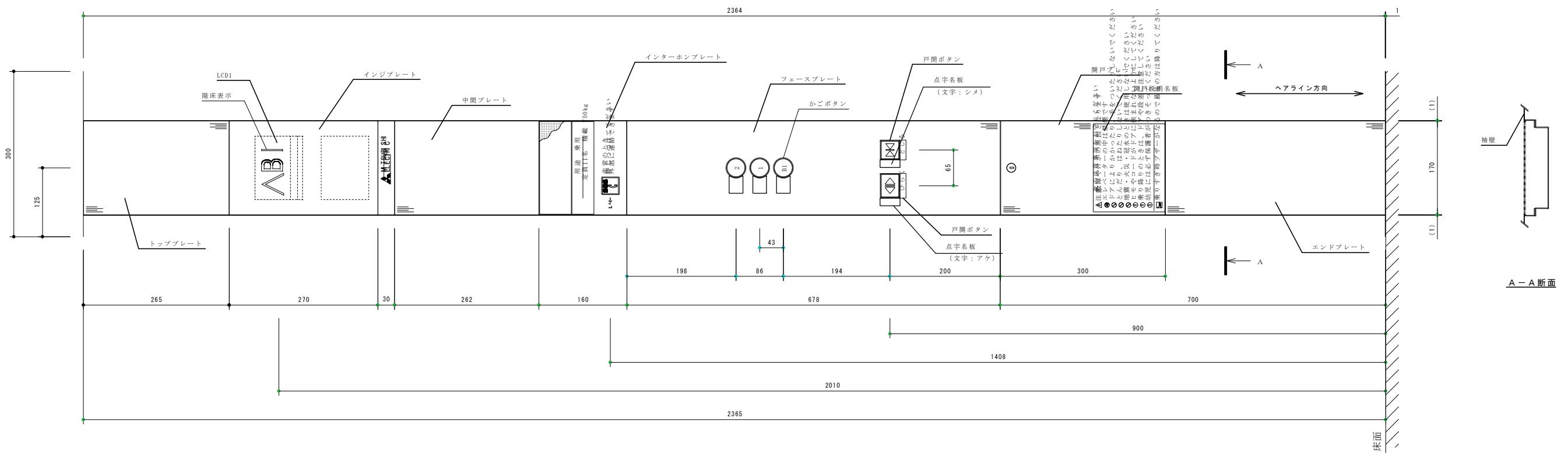
意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
照明	乳白色樹脂照明板 LED 照明モジュール (324灯) 白色 LED 照明ボックス: 溶融亜鉛メッキ鋼板
停電灯	6V10W×1灯
換気装置	ラインフローファン (FB-9E)
壁	化粧フィルム貼仕上
袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
扉	化粧フィルム貼仕上 (目地付)
出入口上板	化粧フィルム貼仕上
巾木	アルミアルマイト仕上
床仕上部	ゴムタイル 3t
敷居	硬質アルミ製
手摺	ステンレス製パイプヘアライン仕上 (φ38) プラケット: アルミダイカスト (銀色塗装)
鏡	ステンレス鏡面材 2.5t
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上: ビス無
視覚障害者用マット	有



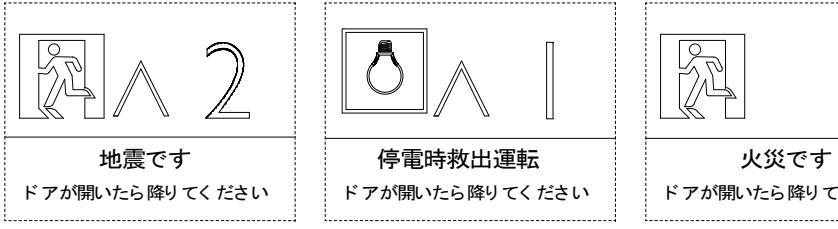
京福コンサルタント株式会社
福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345
一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号
一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝

令和3年7月
工事名称
小浜キャンバス交流センター エレベータ更新工事
図面名称
かご室意匠図

図面番号
EV 12
1/1, 2, 3, 15
EV 14



かご操作盤意匠図 S = 1 / 8



《地震時管制運転》

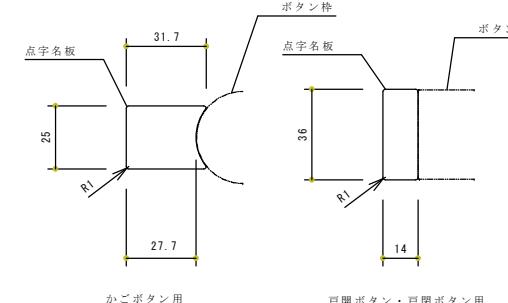
《停電時自動着床運動》

《火災時管制運動》

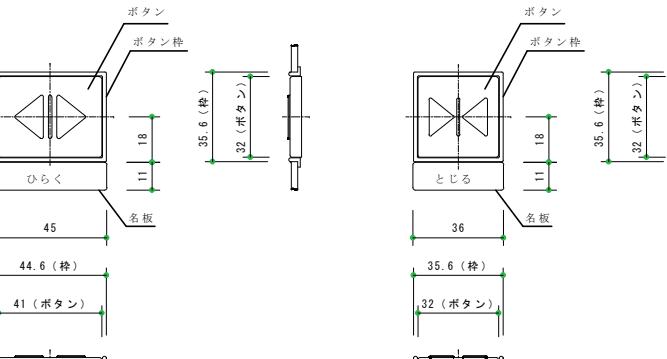
液晶インジ表示内容 S = 1 / 3

用途 乗用
定員11名 積載 750kg

用途積載名板表示内容 S = 1 / 2



点字名板詳細 S = 1 / 3



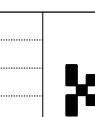
インターホンボタン詳細 S = 1 / 3

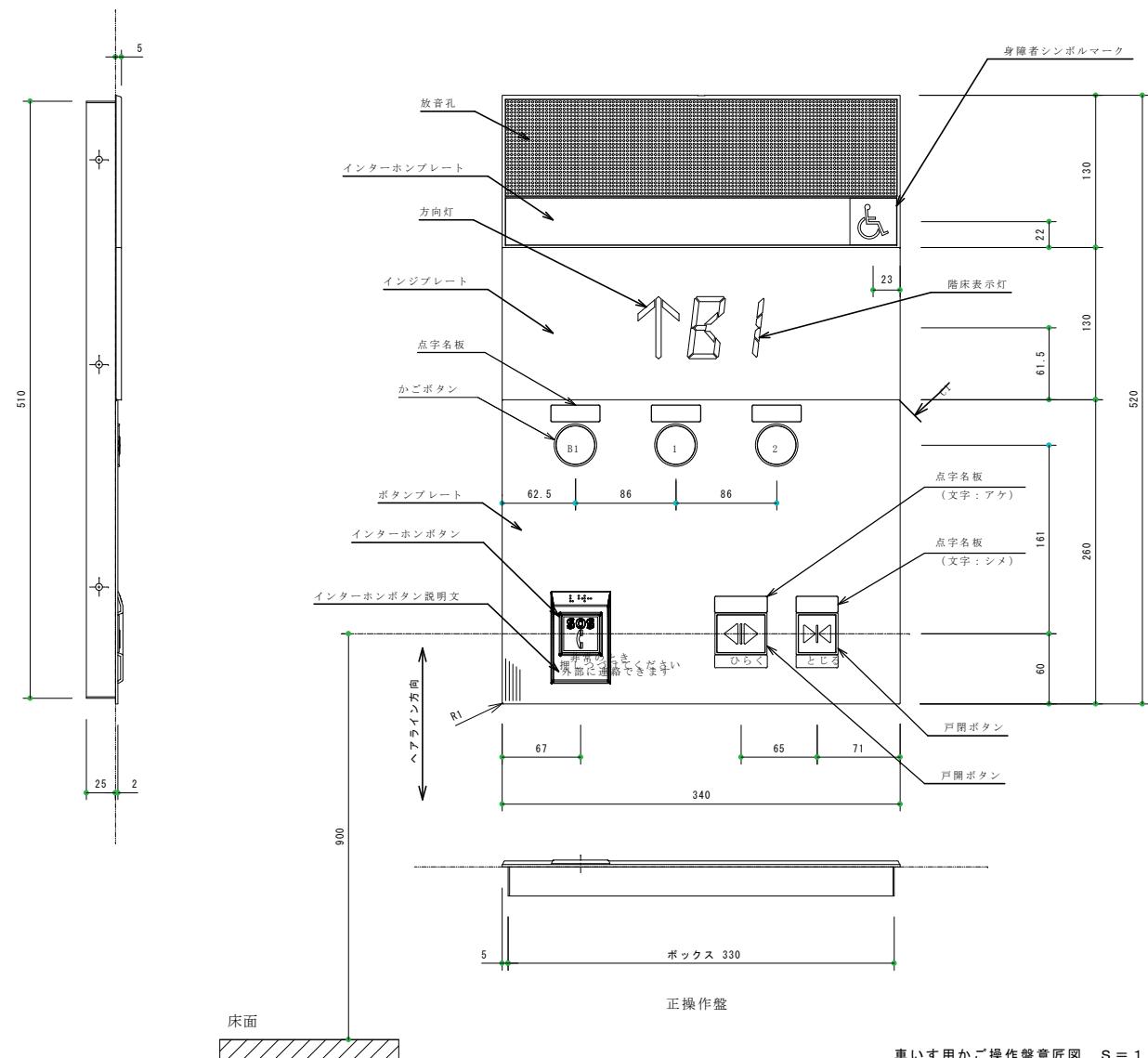
かごボタン詳細 S = 1 / 3

戸開ボタン詳細 S = 1 / 3

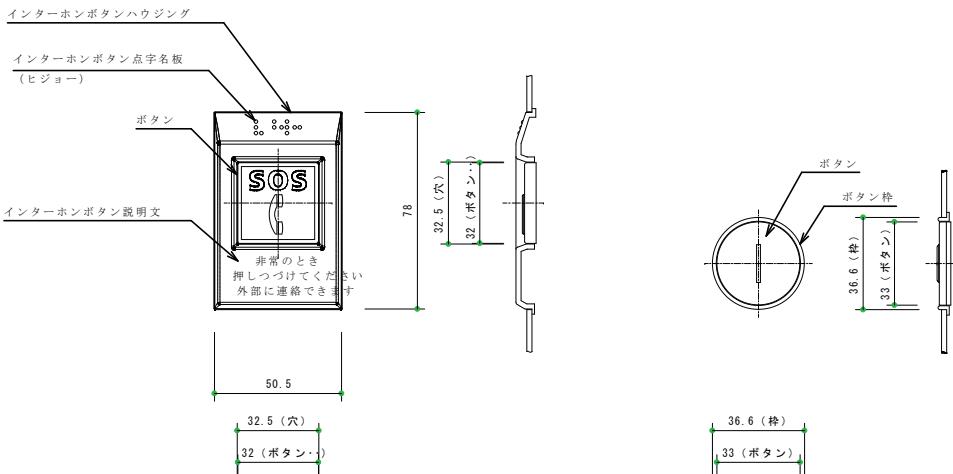
戸閉ボタン詳細 S = 1 / 3

意匠仕様	
トッププレート	ステンレスヘアライン仕上
インジプレート	プラスチック (色: ダークグレー)
LCDインジ LCD 1	5.7インチ (方向表示・階床表示・メッセージ表示)
遮光フィルム	プラスチック (色: ダークグレー)
社名板	プラスチック (色: ダークグレー)
中間プレート	ステンレスヘアライン仕上
インターホンプレート	プラスチック (色: ダークグレー)
放音孔	プラスチック (色: ダークグレー) バンチングシート
用途積載名板	プラスチック (色: ダークグレー)
インターホンボタン説明文	文字: 白色
ボタン	ボタン: プラスチック (色: 朱色) 外周・マーク・文字: 白色 文字: フラット マーク: 凸形状
フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
戸開ボタン	ボタン: ステンレスバイプレーション マーク: 白色 ボタン枠: ライトグリーン (非点灯) 名板 (シール式) 文字: 白色 ベース: ライトグリーン マーク: 凸形状
戸閉ボタン	ボタン: ステンレスバイプレーション マーク: 白色 ボタン枠: ライトグリーン (非点灯) 名板 (シール式) 文字: 白色 ベース: ステンレスメタリック色 マーク: 凸形状
かごボタン	ボタン: ステンレスバイプレーション 文字: 白色 ボタン枠: 透明 (点灯色: ボタンと同一) 文字: 凸形状
ボタン点灯色	黄橙色
開戸プレート	ステンレスヘアライン仕上
開戸説明名板	プラスチック (色: SUS調シルバー)
エンドプレート	ステンレスヘアライン仕上
点字名板	プラスチック (SUS調シルバー) 表面マット仕上 取付: 接着

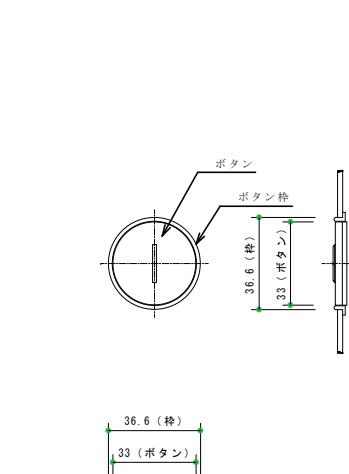




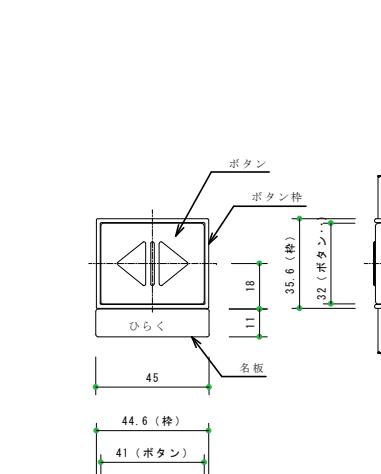
車いす用かご操作盤意匠図 S = 1 / 3



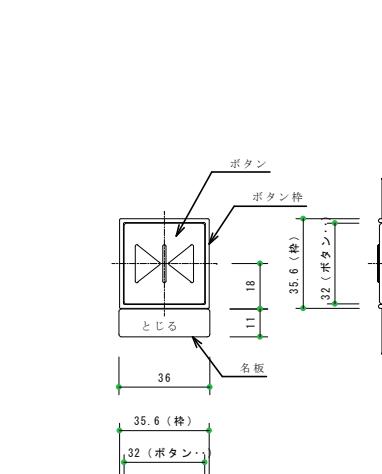
インターホンボタン詳細 S = 1 / 1



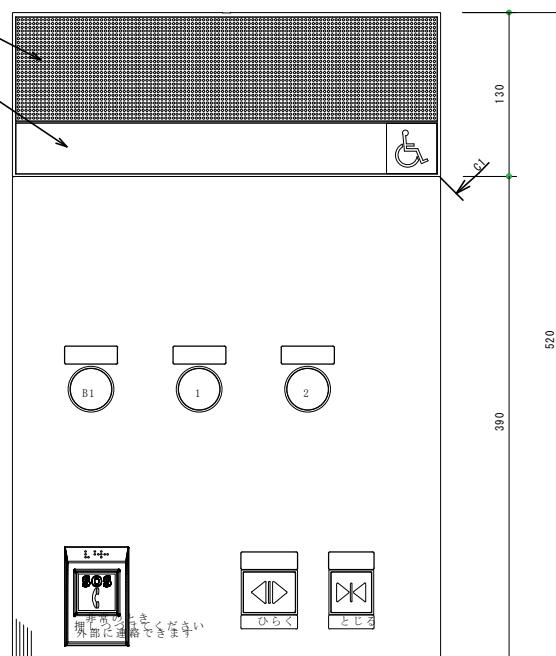
かごボタン詳細 S = 1 / 1



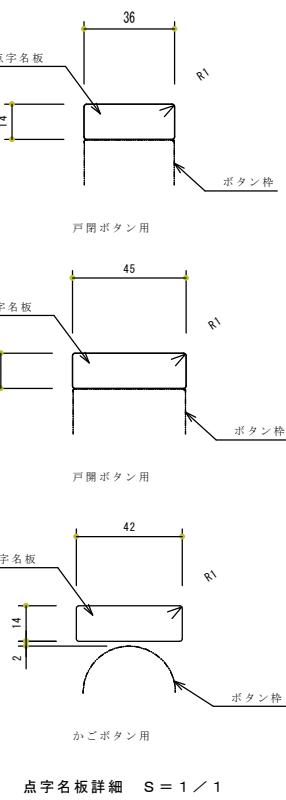
戸開ボタン詳細 S = 1 / 1



戸閉ボタン詳細 S = 1 / 1



副操作盤



点字名板詳細 S = 1 / 1

意匠仕様	
インターホンプレート	プラスチック (ダークグレー)
LEDインジ (セグメント)	LED (点灯色: オレンジ)
方向灯	LED (点灯色: オレンジ)
階床灯	LED (点灯色: オレンジ)
インターホンプレート	プラスチック (ダークグレー)
飾り板	プラスチック (ダークグレー)
放音孔、飾り穴	プラスチック (ダークグレー) バンチングシート
身障者シンボルマーク	名板 (マーク: 白 その他: 青) プラスチック (□40シール式)
インターホンボタン	ボタン: プラスチック (朱色) 外周: 白色 文字: 白色 (フラット) マーク: 白色 (凸形状) ボタン棒: インターホンボタンハウジング プラスチック (ダークグレー)
インターホンボタン説明文	文字: 白色
かごボタン	ボタン: ステンレスバイブレーション 文字: 白色 (凸形状 点灯色: 黄橙色点灯) ボタン棒: 透明 (点灯色: ボタンと同一)
戸開ボタン	ボタン: ステンレスバイブレーション マーク: 白色 (凸形状 点灯色: 黄橙色点灯) ボタン棒: ライトグリーン (非点灯)
戸閉ボタン	ボタン: シール式 文字: 白色 ベース: ライトグリーン マーク: 白色 (凸形状 点灯色: 黄橙色点灯) ボタン棒: ライトグレー (非点灯)
ボタンプレート	ステンレスヘアライン仕上
点字名板	プラスチック (表面マット仕上) 色: SUS調シルバー 取付: 接着

京福コンサルタント株式会社 福井県小浜市多田11号2番地1 TEL: (0770) 56-2345 一級建築士事務所 福井県知事登録い-871号 一級建築士 国土交通大臣登録 第338447号 神崎 洋孝	令和3年7月	工事名称 小浜キャンバス交流センター エレベータ更新工事	図面番号
		図面名称 車いす用かご操作盤意匠図	E V 14 / 14
			縮尺 1/1,3